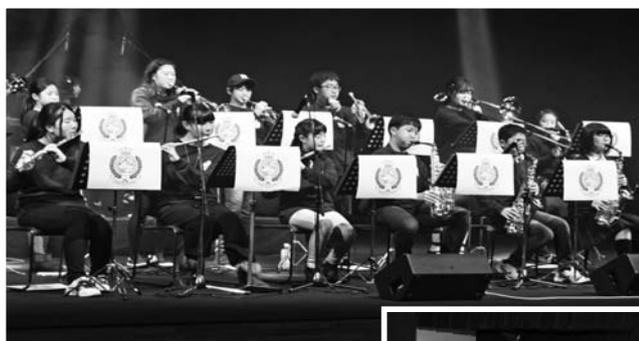


のアルバム

▼2月11日 野洲文化ホール



輝け！金の卵！プロをめざして

滋賀初となる10代だけのジャズユニット「マザーレイクジャズオーケストラ」がデビューコンサートを行いました。

昨年11月にプロのアーティストをめざす子どもたち27人(内市内在住2人)が集結し、現役の地元ミュージシャンの指導を受けながら毎週練習してきました。

この日は、練習の成果を全て出し切り素晴らしい演奏を披露した子どもたちに惜しめない拍手が送られ、充実の笑みがこぼれていました。

これからも、ジャズに対する熱い思いを胸に心に響く素晴らしい音楽を届けてください。



100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた嶋田きをさん(三上)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正6年2月1日生まれのきをさんは、氷川きよしの大ファンで毎日、お気に入りの歌を歌い楽しく過ごされています。

いつまでもお元気で。

▼2月3日 三上



▼1月8日 総合体育館



地域防災の担い手として

野洲市中学生消防クラブ(団員15人)が結成され、初めて野洲市消防出初式に参加しました。

当日は、5人の中学生が市消防団・自主防災組織の皆さんとともに式典への参列と一斉防水訓練を行い、貴重な経験をしました。

大規模災害が発生すれば、自助・共助が必要不可欠です。

参加された皆さんが防火防災への理解を深め、将来の地域防災の担い手として活躍されることを願っています。



歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

大正10年 野洲駅発汽車時刻表

明治22年（1889）に東海道線（新橋—神戸間）が全線開通し、野洲駅はその2年後、明治24年（1891）6月16日に開業しました。

写真は、大正10年（1921）の野洲駅の時刻表です。大きさは縦39.6cm、横54.2cmで、青・赤の二色で刷られています。上部には「親切確實迅速」と書かれており、右から読むように作られています。中央部には汽車の説明があり「赤字ハ貨物列車」「青字ハ旅客列車」と書かれており、それぞれの時刻の汽車が、書かれている文字の色によって貨物列車か旅客列車かわかるようになっています。時刻の下には「初発駅」「終着駅」と書かれており、駅名を見ると米原や京都、姫路、その他にも下ノ関、名古屋、富山、東京などへ向かう汽車が野洲駅を出発し、走っていたことがわかります。

また「〒印ハ郵便差立列車」と書かれており、1日に上り線では3本、下り線では1本の郵便を運ぶ汽車があります。『野洲郡史』によると、当時の野洲郵便局の集配区域は三上村・祇王村・野洲町の三ヶ町村であり、逓送方法は全て汽車であったと書かれています。このことから当時の汽車が、郵便を送るために大きな役割を果たしていたと考えられます。時刻表の右端には「野洲驛發汽車時刻表 大正十年四月改正」と書かれています。大正10年4月は篠原駅が開業した年でもあり、この時刻表は篠原駅開業に伴って時刻が改正されて発行されたものではないかと考えられます。この時刻表は3月31日まで展示しています。

今から90年以上前の野洲駅の時刻表ですが、当時も人々の生活を支えてきたことを感じていただければと思います。

（歴史資料整理員 森 鮎子）



楽しいよ おでんパーティー！！

北野幼稚園の園児たち（年長組）と保護者がおでんパーティーを行いました。

保護者がクッキングサポーターとなり、園児たちが園内の畑で収穫した大きな大根とニンジンをも自分たちの手で調理しました。

おでんが出来上がるまで、人気キャラクターに仮装したお母さんたちによる出し物が行われ、「おでんクイズ」では、大きな声で手を挙げ元気よく答えていました。

みんなで協力して作ったおでんを食べながら、とても楽しい時間を過ごしました。

▼ 1月13日 北野幼稚園



見て見て！自分で作った「おでん」だよ！

